



今月のテーマは。。。 我が家の梅雨対策

6月は梅雨の時期です。6月頃前線(梅雨前線)が停滞して長雨を降らせる現象を指し、日本の雨季と言つて差し支えないと思ひます。

青森県では、梅雨がはつきりしない年もありますが、北東北(青森、秋田、岩手の三県)でまとめて梅雨入りが発表されています。津軽海峡を隔てた北海道では、梅雨入りを発表しているません。これは、北海道まで到達する頃には、前線が弱まり長雨になります。しかし、場合によつては蝦夷梅雨と呼ばれる長雨になります。

青森県では、同じ時期に「やませ」がふきつけるため、地域よつては寒い日が続いてしまうことがあります。

梅雨の時期は、湿度が上がりジメジメして不快です。さらに、洗濯物が乾きづらくなったり、カビが発生したりして困つてしまします。

そこで今回は、我家の梅雨対策をテーマに募集しました。除湿器の使用はもちろん、家庭の知恵も寄せられました。ぜひ試してみてください。

空気の流れ



換気扇

洗濯物を干す時は、台所の換気扇をつけています(空気の流れをつくるため)

八戸市 W・Sさん

風の通り道

姑から嫁いだ時から教えてもらいました。基本的な事です。雨降りでも風の通り道を作るために窓少しづつ数か所空ける。風乾きと言うのだそ

うです。
むつ市 「4匹の子豚ママ」さん

新聞紙



間に挟みます

私は部屋干しをする際、「ハンガー」に新聞紙を1枚広げて洗濯ばさみなどで挟んだもの」を必要分用意します。これを使って新聞紙、洗濯物、新聞紙というように交互に干します。床の所にも丸めた新聞を置きます。最初は、セットするのが面倒ですが、乾きが全然違います。

八戸市 N・Kさん

私が新聞紙を広げて敷くことです。湿度がこもりやすい所には、一度くしゃくしゃにする効果があります。髪は広がるので、縛るに限る!です。
むつ市 M・Oさん

こんな方法もあります

凍ったペットボトルで

凍ったペットボトルの下に皿を置き、扇風機で風を当て、空気中の湿気を結露させて水滴にしてしまいます。お部屋が広いと効果はあまり感じられませんが、材料は身近に手に入ります。

重曹にこんな使い方が!

重曹をビンにいれ、通気性の良い布をかぶせて除湿剤をつくり、湿気を吸つてもらいます。空気が滞りやすい狭い場所や、密封されたタンスやシンク下で効果が出やすいです。湿気を吸つても重曹は使えるので、湿気を吸わせたあとに、掃除などに利用できます。

楽しむことも大切

8月号のテーマは
「終戦の日によせて

です。

梅雨の時期は換気が大事です。浴室はこの時期カビが広がりやすいので、小さなカビを見つけたらすぐ除去します。押入れが湿気しやすい場所があるので、除湿剤はもちろん、隙間に新聞紙や段ボールをはさんで、できるだけの除湿を心掛けています。梅雨の時期は気持ちは暗くなりがちですが、植物や建物が雨できれいになるので、しつとり感も味わいながら散策したりなど、梅雨も楽しみながら乗り切ろうと心がけています。

弘前市の組合員さん

アのウクライナ攻撃により、両国の兵士はもとより、子どもたちやお年寄りをはじめ多くのウクライナ市民の命が失われています。そこで今回は、「終戦の日によせて」今、平和について思っていることを募集いたします。

氏名(よみがな)・組合員番号・掲載時のお名前を明記の上、ご応募ください。〆切は6月23日(消印有効)です。ご投稿お待ちしております。

*今回の「組合員の交流コーナー」は、皆さんからの投稿「はばたき」レポート一覧のご協力で、紙面を作成しています。ご協力ありがとうございます。

宛先 おハガキの場合、〒038-012 青森市柳川二丁目4-22 コープあおもり本部 広報担当宛て Eメールの場合は、habataki@coopao mori.comまでお寄せください。パズルの応募と一緒に投稿もお待ちしておりますので、よろしくお願いします。



はばたき宛て
メールフォーム
こちらからも
投稿できます。